IDSC Infectious Disease Surveillance Center

2013年4月1日現在

※ ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ混合ワクチン
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能
※※※ 日本小児科学会推奨案
＊ 母子感染予防の場合のスケジュール案を示す。母子感染予防以外の目的で受ける場合は、4週間の間隔をあけて2回接種し、1回目の接種から20～24週あけて3回目を接種

生ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日（いわゆる4週間）以上あけて受けます（例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます）

不活化ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日（いわゆる1週間）以上あけて受けます（例：月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます）

定期接種で受けられる期間
任意接種として接種可能な期間
緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンを接種する場合がある

● 注射の生ワクチン（BCGは経皮接種）
▲ 経口の生ワクチン
○ 注射の不活化ワクチン

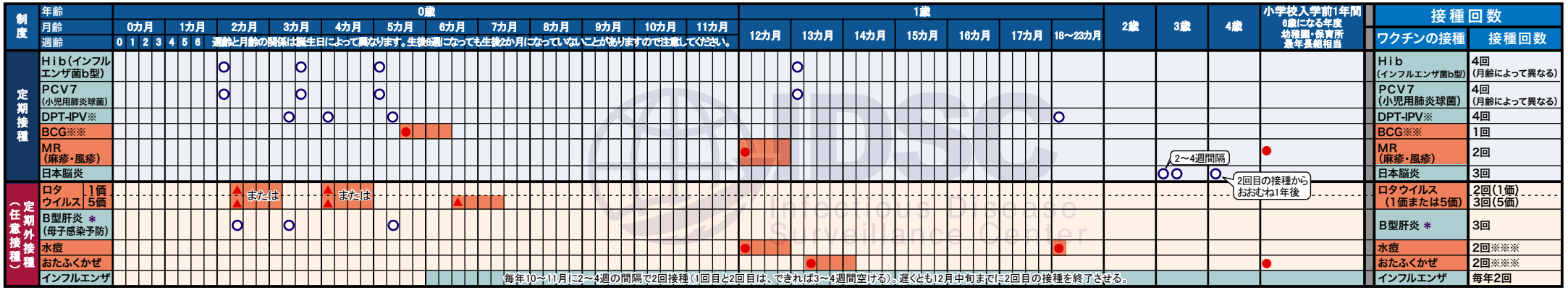
DPT-IPVを受ける場合の
乳幼児予防接種スケジュール

注） 本スケジュール案は、2013年4月現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。
接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。
詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

お子様の氏名		生年月日	年　月　日

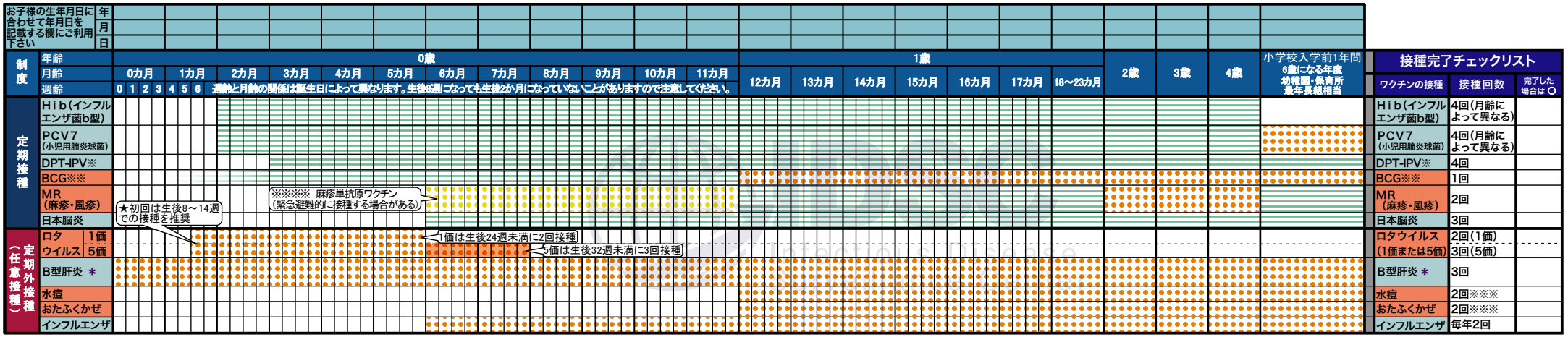
DPT-IPVを受ける場合の乳幼児の予防接種スケジュール（例：その1）

同時接種を希望するが、1回に受けるワクチンの数は2種類以下を希望する場合(受診回数：インフルエンザを除いて16回または17回)



乳幼児の予防接種スケジュール（記載用）

お子様のスケジュールを書き込んで下さい



↓ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

DPT-IPV※				BCG※※	MR（麻疹・風疹）		日本脳炎			ロタウイルス（1価）		ロタウイルス（5価）			B型肝炎 ＊			水痘		おたふくかぜ		Hib（インフルエンザ菌b型）					PCV7（小児用肺炎球菌）				

↓インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい：毎年2回

0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳	

© Copyright 2013 IDSC All Rights Reserved. 無断転載・改編を禁ずる。

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

2013年4月1日現在

※ ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ混合ワクチン
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能
※※※ 日本小児科学会推奨案
＊ 母子感染予防の場合のスケジュール案を示す。母子感染予防以外の目的で受ける場合は、4週間の間隔をあけて2回接種し、1回目の接種から20～24週あけて3回目を接種

生ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日（いわゆる4週間）以上あけて受けます（例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます）

不活化ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日（いわゆる1週間）以上あけて受けます（例：月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます）

定期接種で受けられる期間
任意接種として接種可能な期間
緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンを接種する場合がある

● 注射の生ワクチン（BCGは経皮接種）
▲ 経口の生ワクチン
○ 注射の不活化ワクチン

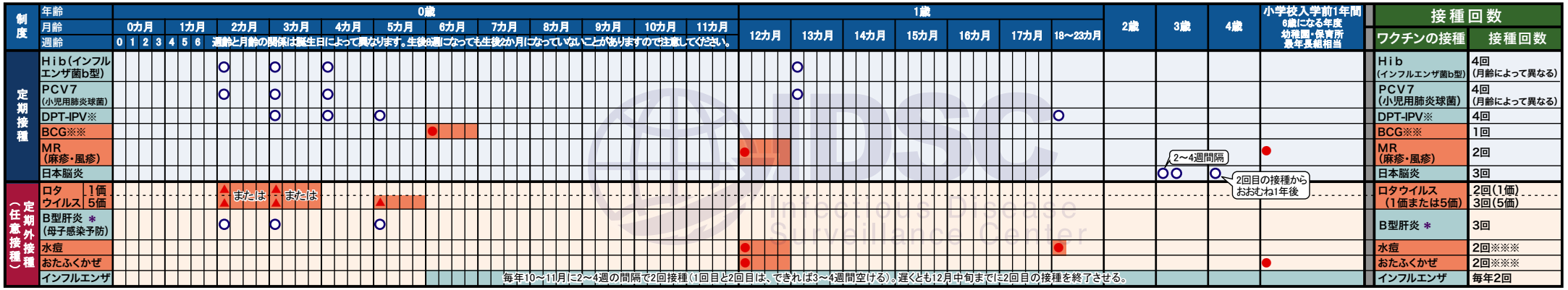
DPT-IPVを受ける場合の
乳幼児予防接種スケジュール

注） 本スケジュール案は、2013年4月現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。
接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。
詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

お子様の氏名		生年月日	年　月　日

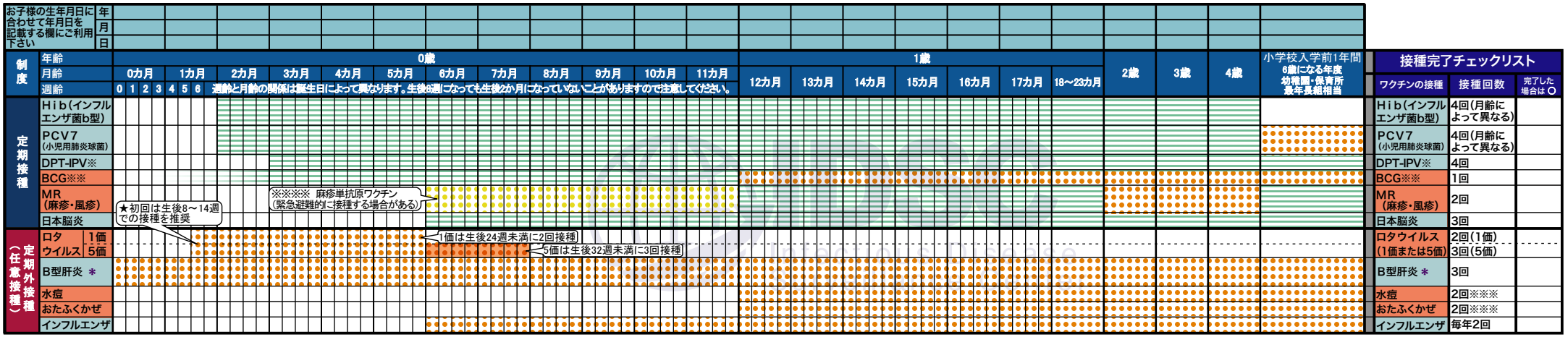
DPT-IPVを受ける場合の乳幼児の予防接種スケジュール（例：その2）

同時接種を希望するが、1回に受けるワクチンの数に制限をつけない場合（受診回数：インフルエンザを除いて12回）



乳幼児の予防接種スケジュール（記載用）

お子様のスケジュールを書き込んで下さい



↓ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

DPT-IPV※	BCG※※	MR（麻疹・風疹）	日本脳炎	ロタウイルス（1価）	ロタウイルス（5価）	B型肝炎 ＊	水痘	おたふくかぜ	Hib（インフルエンザ菌b型）	PCV7（小児用肺炎球菌）

↓インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい：毎年2回

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳

© Copyright 2013 IDSC All Rights Reserved. 無断転載・改編を禁ずる。

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

2013年4月1日現在

※ ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ混合ワクチン
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能
※※※ 日本小児科学会推奨案
＊ 母子感染予防の場合のスケジュール案を示す。母子感染予防以外の目的で受ける場合は、4週間の間隔をあけて2回接種し、1回目の接種から20～24週あけて3回目を接種

生ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日（いわゆる4週間）以上あけて受けます（例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます）

不活化ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日（いわゆる1週間）以上あけて受けます（例：月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます）

定期接種で受けられる期間
任意接種として接種可能な期間
緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンを接種する場合がある

● 注射の生ワクチン（BCGは経皮接種）
▲ 経口の生ワクチン
○ 注射の不活化ワクチン

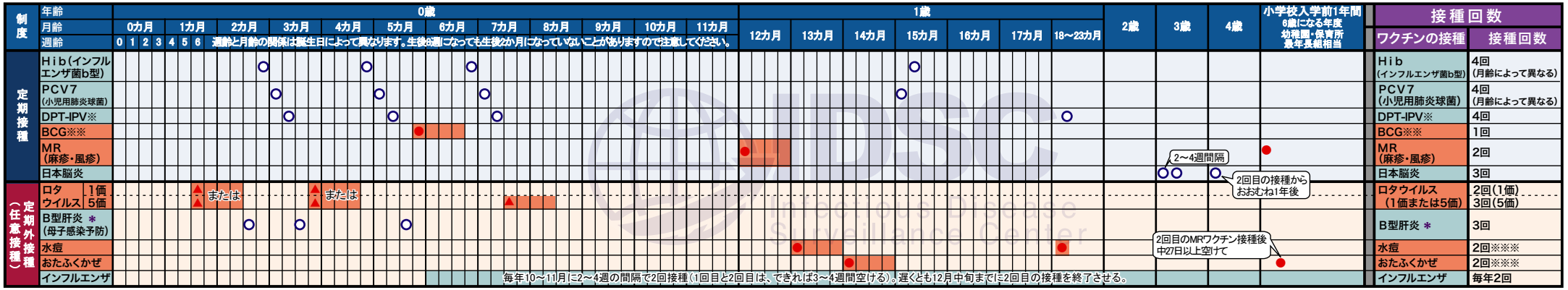
DPT-IPVを受ける場合の
乳幼児予防接種スケジュール

注） 本スケジュール案は、2013年4月現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。
接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。
詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

DPT-IPVを受ける場合の乳幼児の予防接種スケジュール（例：その3）

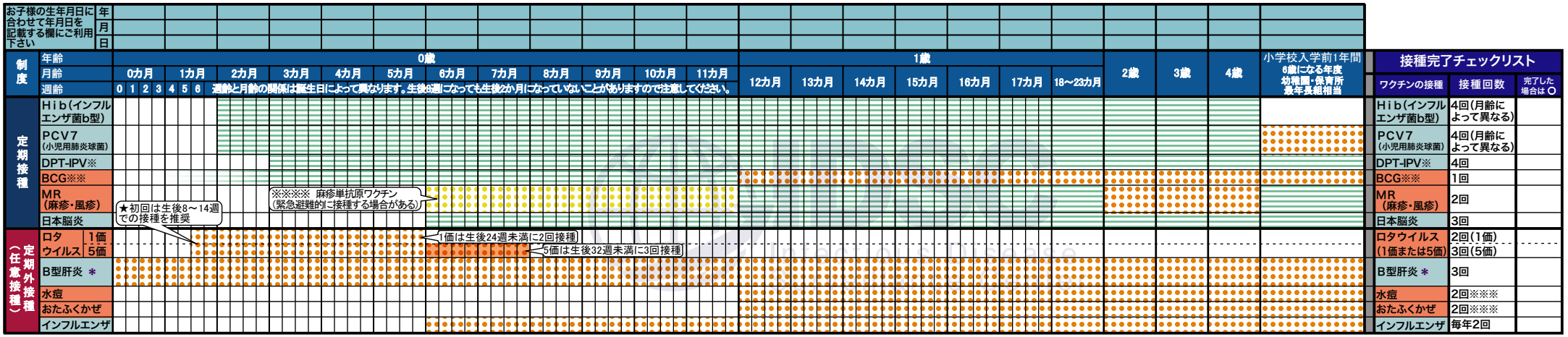
単独接種を希望する場合（受診回数：インフルエンザを除いて27回または28回）

お子様の氏名		生年月日	年　月　日



乳幼児の予防接種スケジュール（記載用）

お子様のスケジュールを書き込んで下さい



↓ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

DPT-IPV※	BCG※※	MR（麻疹・風疹）	日本脳炎	ロタウイルス（1価）	ロタウイルス（5価）	B型肝炎 ＊	水痘	おたふくかぜ	Hib（インフルエンザ菌b型）	PCV7（小児用肺炎球菌）

↓インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい：毎年2回

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳

© Copyright 2013 IDSC All Rights Reserved. 無断転載・改編を禁ずる。

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

2013年4月1日現在

DPTとIPVを別々に受ける場合の
乳幼児予防接種スケジュール

注） 本スケジュール案は、2013年4月現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。
接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。
詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

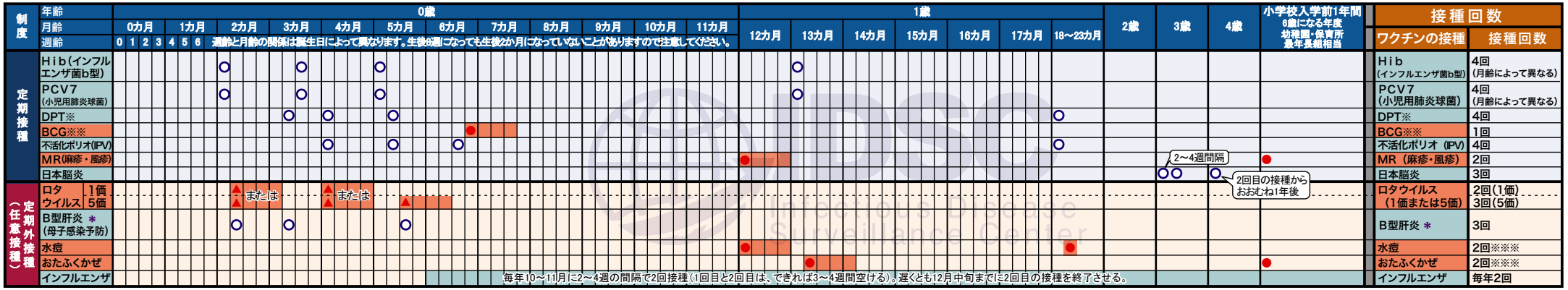
※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能
※※※ 日本小児科学会推奨案
＊ 母子感染予防の場合のスケジュール案を示す。母子感染予防以外の目的で受ける場合は、4週間の間隔をあけて2回接種し、1回目の接種から20～24週あけて3回目を接種

生ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日（いわゆる4週間）以上あけて受けます（例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます）
不活化ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日（いわゆる1週間）以上あけて受けます（例：月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます）
定期接種で受けられる期間
任意接種として接種可能な期間
緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンを接種する場合がある
● 注射の生ワクチン（BCGは経皮接種）
▲ 経口の生ワクチン
○ 注射の不活化ワクチン

お子様の氏名		生年月日	年　月　日

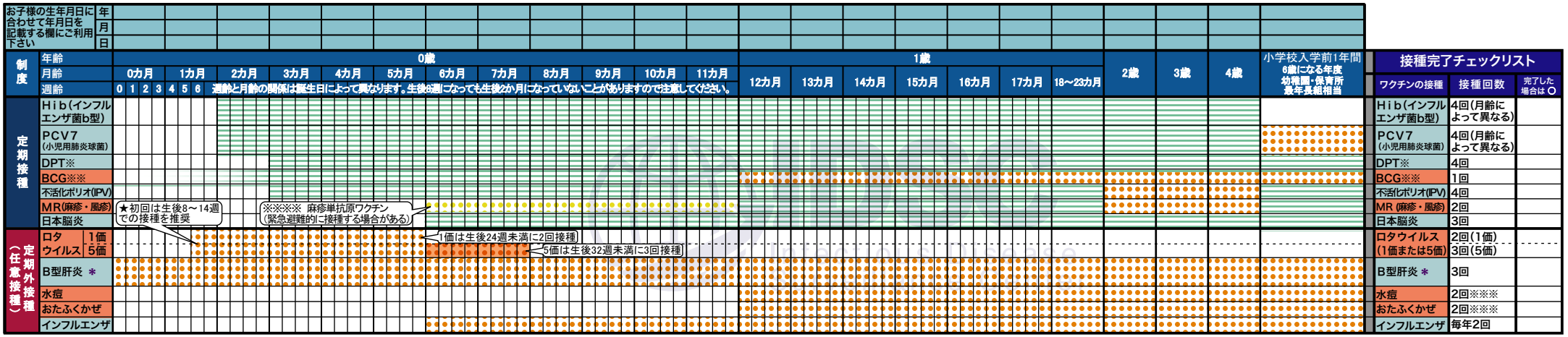
DPTとIPVを別々に受ける場合の乳幼児の予防接種スケジュール（例：その1）

同時接種を希望するが、1回に受ける注射のワクチンの数は2種類以下を希望する場合（受診回数：インフルエンザを除いて19回）



乳幼児の予防接種スケジュール（記載用）

お子様のスケジュールを書き込んで下さい



↓ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

DPT※	BCG※※	MR（麻疹・風疹）	不活化ポリオ（IPV）	日本脳炎	ロタウイルス（1価）	ロタウイルス（5価）	B型肝炎＊	水痘	おたふくかぜ	Hib（インフルエンザ菌b型）	PCV7（小児用肺炎球菌）

↓インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい：毎年2回

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳

© Copyright 2013 IDSC All Rights Reserved. 無断転載・改編を禁ずる。

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

2013年4月1日現在

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能
※※※ 日本小児科学会推奨案
＊ 母子感染予防の場合のスケジュール案を示す。母子感染予防以外の目的で受ける場合は、4週間の間隔をあけて2回接種し、1回目の接種から20～24週あけて3回目を接種

生ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日（いわゆる4週間）以上あけて受けます（例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます）

不活化ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日（いわゆる1週間）以上あけて受けます（例：月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます）

定期接種で受けられる期間
任意接種として接種可能な期間
緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンを接種する場合がある

● 注射の生ワクチン（BCGは経皮接種）
▲ 経口の生ワクチン
○ 注射の不活化ワクチン

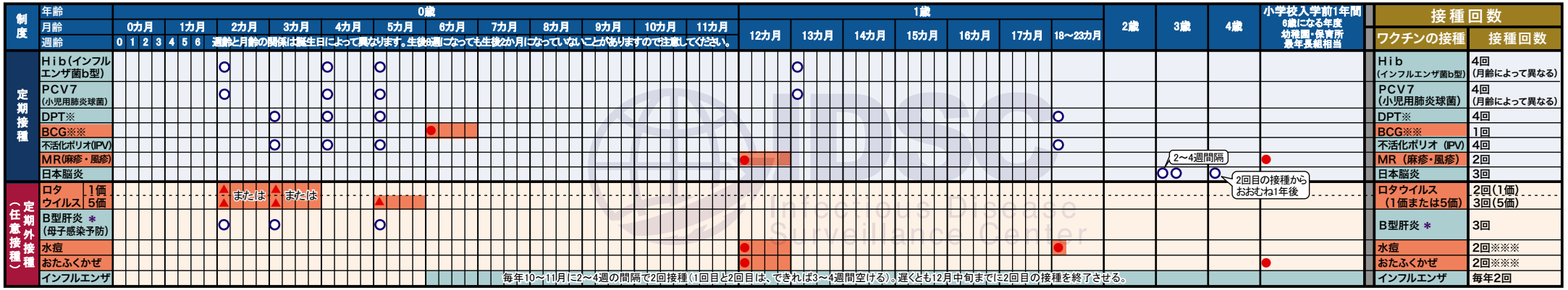
DPTとIPVを別々に受ける場合の
乳幼児予防接種スケジュール

注） 本スケジュール案は、2013年4月現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。
接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。
詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

DPTとIPVを別々に受ける場合の乳幼児の予防接種スケジュール（例：その2）

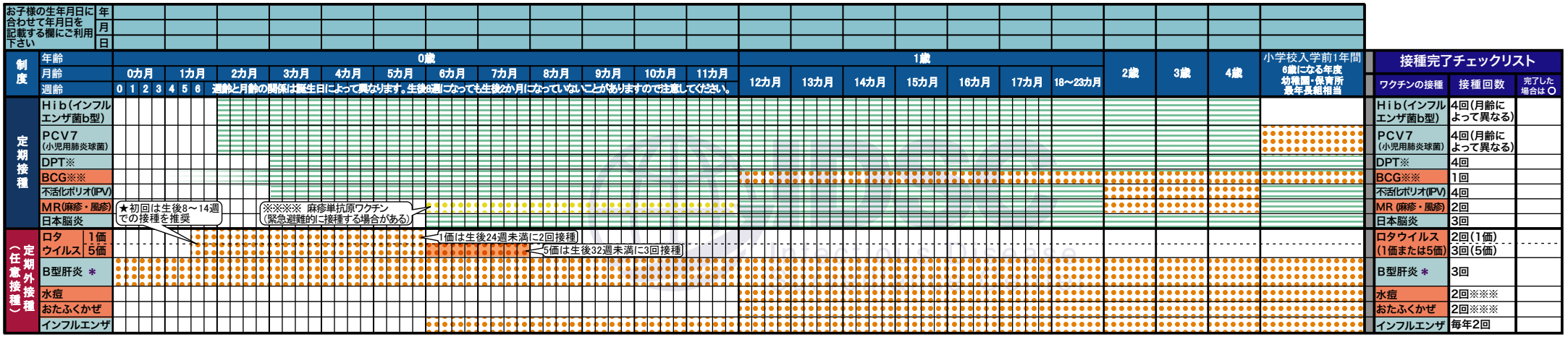
同時接種を希望するが、1回に受けるワクチンの数に制限をつけない場合（受診回数：インフルエンザを除いて12回）

お子様の氏名		生年月日	年　月　日



乳幼児の予防接種スケジュール（記載用）

お子様のスケジュールを書き込んで下さい



↓ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

DPT※	BCG※※	MR（麻疹・風疹）	不活化ポリオ（IPV）	日本脳炎	ロタウイルス（1価）	ロタウイルス（5価）	B型肝炎＊	水痘	おたふくかぜ	Hib（インフルエンザ菌b型）	PCV7（小児用肺炎球菌）

↓インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい：毎年2回

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳

© Copyright 2013 IDSC All Rights Reserved. 無断転載・改編を禁ずる。

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

2013年4月1日現在

※ ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン
※※ 集団接種が実施されている場合があるため、BCGは単独にしているが、医師が必要と認めた場合は他のワクチンとの同時接種可能
※※※ 日本小児科学会推奨案
＊ 母子感染予防の場合のスケジュール案を示す。母子感染予防以外の目的で受ける場合は、4週間の間隔をあけて2回接種し、1回目の接種から20～24週あけて3回目を接種

生ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中27日（いわゆる4週間）以上あけて受けます（例:月曜日に接種したら次は4週間後の月曜日以降に受けます）

不活化ワクチン　別の種類のワクチンを接種する場合は、中6日（いわゆる1週間）以上あけて受けます（例：月曜日に接種したら次は翌週の月曜日以降に受けます）

定期接種で受けられる期間
任意接種として接種可能な期間
緊急避難的に麻疹単抗原ワクチンを接種する場合がある

● 注射の生ワクチン（BCGは経皮接種）
▲ 経口の生ワクチン
○ 注射の不活化ワクチン

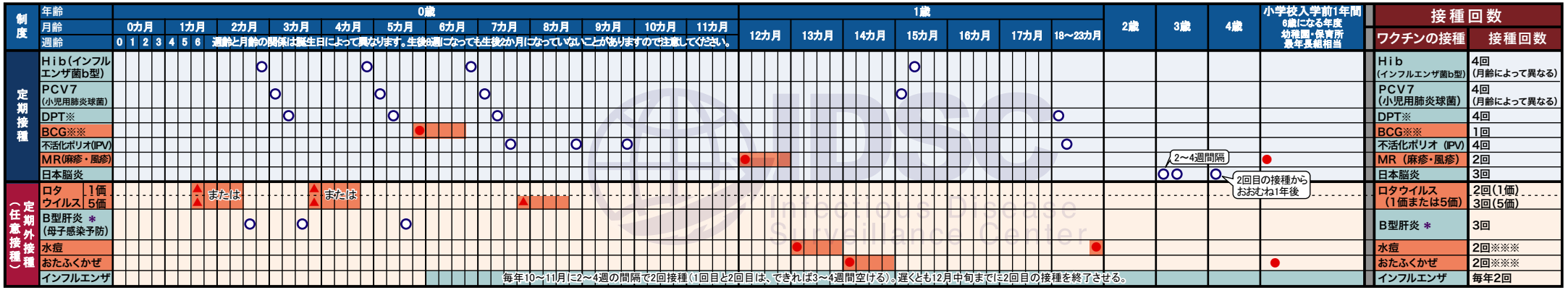
DPTとIPVを別々に受ける場合の
乳幼児予防接種スケジュール

注） 本スケジュール案は、2013年4月現在、乳幼児に接種可能な主なワクチンをすべて受けると仮定して1例を示したものです。
接種の順番や受けるワクチンの種類については、お子様の体調や周りの感染症発生状況によって、異なってきます。
詳しくはかかりつけの医療機関、保健所等でご相談ください。

DPTとIPVを別々に受ける場合の乳幼児の予防接種スケジュール（例：その3）

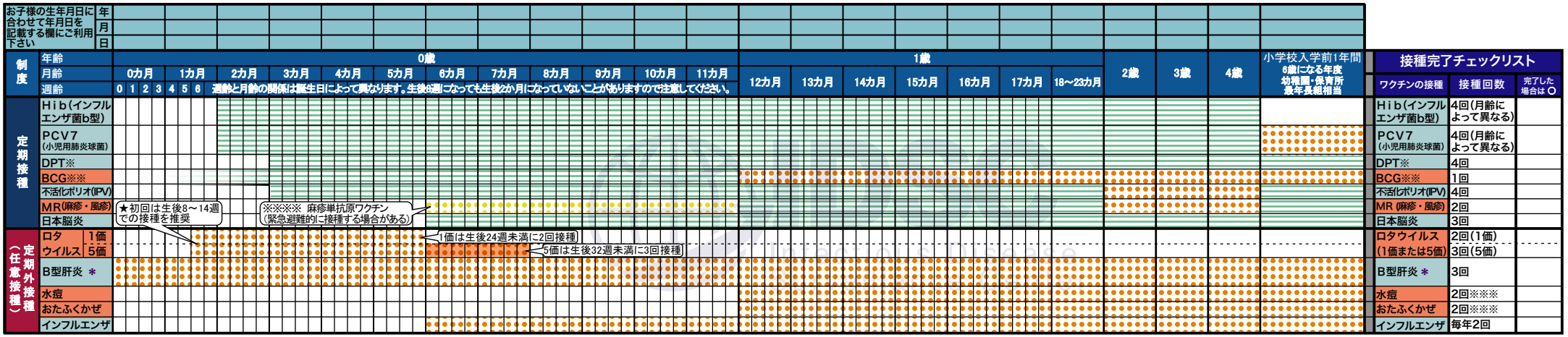
単独接種を希望する場合（受診回数：インフルエンザを除いて31回または32回）

お子様の氏名		生年月日	年　月　日



乳幼児の予防接種スケジュール（記載用）

お子様のスケジュールを書き込んで下さい



↓ワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい

DPT※	BCG※※	MR（麻疹・風疹）	不活化ポリオ（IPV）	日本脳炎	ロタウイルス（1価）	ロタウイルス（5価）	B型肝炎＊	水痘	おたふくかぜ	Hib（インフルエンザ菌b型）	PCV7（小児用肺炎球菌）

↓インフルエンザのワクチンを接種したら、接種した年月日を書き込んで下さい：毎年2回

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳

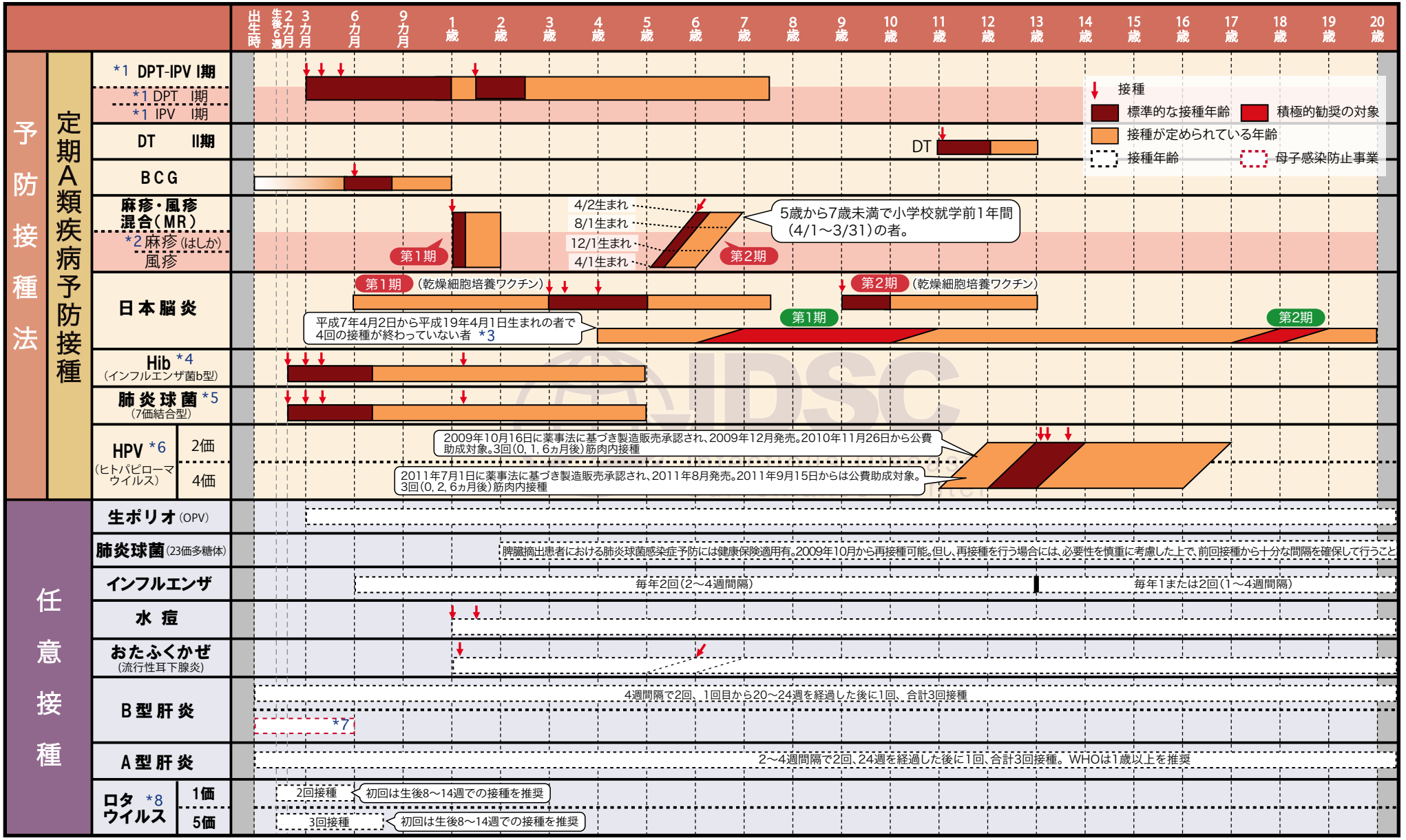
© Copyright 2013 IDSC All Rights Reserved. 無断転載・改編を禁ずる。

IDSC Infectious Disease Surveillance Center

ver. 2013.04.01

日本の定期/任意予防接種スケジュール（20歳未満）（平成25年4月1日以降）

2013年4月1日現在



*1 D:ジフテリア、P: 百日咳、T:破傷風、IPV: 不活化ポリオを表す。IPVは2012年9月1日から、DPT-IPV混合ワクチンは2012年11月1日から定期接種に導入。回数は4回接種ですが、OPVを1回接種している場合は、IPVをあと3回接種します。OPV(生ポリオワクチン)は2012年9月1日以降定期接種としては使用できなくなりました。IPVで接種を開始した場合、DPT-IPVで接種を開始した場合は、それぞれ原則として同じワクチンで接種を完了します。

*2 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンを接種。

*3 第1期・第2期で受けそびれていた人も、平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの人は、20歳未満であれば特例対象者として残りの回数を定期接種として受けられます。なお、平成25年度に7歳、8歳、9歳、10歳となる者への第1期、18歳となる者への第2期は積極的勧奨の対象となります。

*4 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2ヵ月以上5歳未満の間にある者に行うが、標準として生後2ヵ月以上7ヵ月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、4～8週間の間隔で3回皮下接種（医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能）。接種開始が生後7ヵ月以上12ヵ月未満の場合は、通常、4～8週間の間隔で2回皮下接種（医師が必要と認めた場合には3週間間隔で接種可能）。初回接種から7～13ヵ月後に，1回皮下接種。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常，1回皮下接種。

*5 2009年10月16日に薬事法に基づき製造販売承認され、2010年2月24日から国内での接種開始。生後2ヵ月以上7ヵ月未満で開始し、27日間以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12～15ヵ月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。生後7ヵ月以上12ヵ月未満の場合：27日以上の間隔で2回接種したのち、60日間以上あけてかつ1歳以降に1回追加接種。1歳：60日間以上の間隔で2回接種。2歳以上9歳以下：1回接種。

*6 定期接種の対象は小学校6年生（12歳になる年度）～高校1年生相当（16歳になる年度）の女子で、標準的接種年齢は中学1年生の間（13歳になる年度）。互換性に関するデータがないため、同一のワクチンを3回続けて筋肉内に接種。接種間隔はワクチンによって異なる。

*7 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性（HBe抗原陽性、陰性の両方とも）の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヵ月にHB免疫グロブリン（HBIG）を接種、ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2,3,5ヵ月にHBワクチンを接種する。生後6ヵ月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う（健康保険適用）。

*8 ロタウイルスワクチンは初回接種を1価で始めた場合は『1価の2回接種』。5価で始めた場合は『5価の3回接種』。1回目の接種は生後14週＋6日までに行うことが推奨されています。

© Copyright 2013 IDSC All Rights Reserved.　無断転載・改編を禁ずる。